

令和2年度第3回小牧市こども・子育て会議

	日 時	令和2年10月22日(木) 午後2時
	場 所	こまきこども未来館 3階
学 識 経 験 者	兵庫教育大学 小学校教員養成特別コース 准教授	鈴木 正敏
	保育士経験者(元指導保育士)	長江 美津子
各 種 団 体 関 係 者	小牧市教育委員会 教育委員	伊藤 和子
	小牧市小中学校校長会 代表	中川 裕子
	小牧市区長会 代表	伴野 純二
	小牧市青少年健全育成市民会議 代表	野々川 和明
	小牧市地区民生・児童委員連絡協議会 代表	田中 正造
	小牧市地区民生・児童委員連絡協議会 代表	山岸 伊久美
	小牧市社会福祉協議会 代表	山田 好広
	小牧市母子保健推進協議会 代表	山本 恒子
	保育園長会 代表(公立園)	余語 美紀
	保育園保護者会 代表(公立園)	武智 美緒
	小牧市私立幼稚園連合協議会 代表	松岡 明範
	小牧市私立幼稚園保護者会 代表	岩瀬 美穂
	小牧市立第一幼稚園 代表	小川 由美子
	勤労者 代表	牧野 健二
	事業者 代表	岡田 和秀
	小牧市立学校地域コーディネーター 代表	佐橋 明味
	小牧市小中学校PTA連絡協議会 代表	土屋 洋一
	こまき市民活動ネットワーク	鳥居 由香里
公 募 委 員		船橋 孝仁
		北畠 久美子
欠 席 委 員	保育園長会 代表(公立園以外)	長谷川 誓
	保育園保護者会 代表(公立園以外)	堀江 梢
	小牧市子ども会連絡協議会 代表	石黒 薫

※傍聴者2名

## 1 あいさつ

### 【事務局】

本日はお忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、令和2

年度第3回小牧市こども・子育て会議を開催させていただきます。

私は、本日の進行を務めさせていただきます、こども政策課長の伊藤と申します。どうぞよろしく  
お願いいたします。

本日の会議につきましては、前回会議と同様に新型コロナウイルス感染予防のため、マスクの着用  
をさせていただいておりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

また、ご発言をいただく際にお使いいただくマイクについても、同じく感染予防のため発言者が交  
代するごとに一旦マイクを事務局にて引き取らせていただき、感染予防対策をさせていただきますの  
で、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、本会議は公開となっております、ただいまのところ傍聴者は2名となっております。

また、現在22名の委員がご出席されており、過半数以上の委員が出席されておりますので、会議  
が成立いたしますことを報告させていただきます。

なお、堀江委員、石黒委員がご欠席、長谷川委員が遅れてご到着予定との連絡をいただいております。

はじめに、委員の変更についてご報告させていただきます。

9月1日付で、連合愛知尾張中地域協議会の役員任期満了に伴いまして、勤労者代表の委員が廣瀬  
和史委員から牧野健二委員に変更となっておりますのでよろしくようお願いいたします。

牧野委員におかれましては、本日の会議が初めてのご参加となりますので、一言自己紹介をお願い  
したいと思います。牧野委員お願いいたします。

### **【牧野委員】**

牧野と言います。よろしく申し上げます。

先ほどご紹介いただいたとおり、前任の廣瀬から引き継ぐこととなりました。分からないことも多  
くありますけれども、少しでもお力になれるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

### **【事務局】**

ありがとうございます。

任命書につきましては、あらかじめ机の上に置かせていただいておりますので、ご了承賜りますよう  
お願いいたします。

それでは、こども未来部長の鍛冶屋よりご挨拶申し上げます。

### **【事務局（こども未来部部長）】**

本日は、ご多忙にもかかわらず、令和2年度第3回小牧市こども・子育て会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、皆様方には、それぞれの立場から、日頃より格別のご支援・ご協力をいただき、改めて厚く感謝申し上げます。

さて、本日皆様方にお越しいただいた、こまきこども未来館は、「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」の理念を実現する施設として、「未来リテラシーを育む」コンセプトのもと、子ども達にこれからの未来を力強く生き抜く力を育てる豊かな「学び」を提供し、小牧の子ども達やまちの「成長のシンボル」として、今後の本市における子育て支援の中核を担う施設となります。本年12月の供用開始を予定しておりますが、委員の皆様方におかれましては、本日の会議終了後に、施設内の施設をしていただく予定としております。

また、本日の会議では前回までの会議で委員の皆様方より様々なご意見を賜った「小牧市子ども・子育て支援事業計画の令和元年度実績報告」について等を報告させていただきます。

今回も忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げまして、あいさつとさせていただきます。

### **【事務局】**

続きまして、鈴木会長より一言お願いいたします。

### **【鈴木会長】**

皆様、こんにちは。第3回の会議にお越しいただきまして、ありがとうございます。

本日は報告事項のみとなりますが、会議終了後には、このこまきこども未来館の見学もあるということで、楽しみにしていただければと思います。

よろしくお願いいたします。

### **【事務局】**

ありがとうございます。

それでは会議に入ります前に、本日の資料の確認をさせていただきます。

事前送付させていただいた資料といたしまして、資料1-1「小牧市こども・子育て事業計画 令和元年度実績報告書」、資料1-2「概要版小牧市子ども・子育て支援事業計画 令和元年度評価」となります。

また、本日机上に配布させていただいた資料として、資料2「小牧市放課後子ども総合プランに関する提言書」となります。

また前回に引き続きご持参をお願いいたしました資料として、参考資料「小牧市こども・子育て支援事業計画（平成30年3月改訂版）」、「第2期小牧市こども・子育て支援事業計画」になります。資料の不足等はよろしいでしょうか。

それでは議題に入らせていただきます。ここからの会議の進行につきましては、鈴木会長へお願いさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## 2 報告

### 【鈴木会長】

それでは、今回も会議を進めさせていただきます。

先ほども申し上げましたとおり、本日は報告事項のみとなりますけれども、委員の皆様にはお気づきになった点をお伺いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

では、報告事項の1点目、「小牧市子ども・子育て支援事業計画令和元年度実績報告」について、事務局からご説明をお願いいたします。

### 【事務局】

それでは、小牧市子ども・子育て支援事業計画の令和元年度実績報告について説明いたします。

資料1-1をご覧ください。

第2回会議までにいただきましたご意見をもとに、令和元年度の実績報告をこの資料のとおり確定させていただきましたので報告いたします。

なお、第2回会議でいただきましたご意見をもとに、数点追加等を行いました。

6ページ一番下「新型コロナウイルス感染症拡大による休校期間中のゲーム依存に関する対応策について情報提供願いたい」を追加。

11ページ一番下「病児保育事業の病児対応型について」、前回ではこの続きが「受入可能な施設

の配置エリアの見直し等を検討しているのか、情報提供を望む」でしたが、今回は「受入可能な施設の配置エリアの将来的な見直し等を検討願いたい」に修正しました。

16ページ一番下「児童虐待防止のための早期発見・早期対応について」、前回ではこの続きが「外国籍の方の相談件数について情報提供を望む」でしたが、今回は「外国籍の方については、言葉の壁や生活習慣、文化の差も考慮して対応願いたい」に修正しました。

19ページ一番下「保育園等の児童施設の保全計画や補修計画について、情報提供願いたい」を追加。

23ページ一番下、2つ目に「訪問による支援が必要な親子について、判断基準及び支援内容を情報提供願いたい」を追加。

資料1-1の修正は以上です。

次に資料1-2ですが、こちらは、資料1-1の各事業の実施状況を、基本目標毎、施策毎で平均したものになります。

この資料1-1及び1-2につきましては、後日小牧市のホームページにて公開いたします。

説明は以上です。

### 【鈴木会長】

ありがとうございました。

資料1-1と資料1-2について、説明いただきましたが、何かお気づきの点はありますでしょうか。

それでは田中委員、お願いします。

### 【田中委員】

資料1-2に関してですが、基本目標2の施策1「子育てと仕事の両立支援の充実」の実施状況が3.3となっていますが、正しくは2.9ではないでしょうか。それに伴い、基本目標2全体の実施状況も3.3ではなく3.2になると思いますが、いかがでしょうか。

### 【事務局】

ご指摘いただいた箇所は、資料1-1ですと9ページから11ページの3ページにわたってという形になっておりまして、表のナンバー上はNo.1からNo.8ということで8件になっていますが、

2番目の一時預かり事業が2つに分かれています。実施状況を全て足しますと26という数字になりますが、一時預かり事業を2つとしてカウントして計算すると、田中委員がおっしゃったとおりの数字になります。大変失礼いたしました。こちらについては修正をさせていただきます。

### 【鈴木会長】

一箇所数値が違っていたということで、ご指摘ありがとうございます。こちらについては修正をお願いします。

他はいかがでしょうか。よろしいですかね。全体で見ますと一部を除いて、実施状況は「3」以上となっており、見込みどおりもしくはそれ以上に実施されているということで、概ね良かったというように思われます。

こちらの実績報告書には、これまでの会議で委員の皆様から出していただいたご意見を記載しております。委員の皆様には、ご自身の意見が実績報告書に反映されているかの確認をしていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

(挙手なし)

それでは次に進めたいと思いますが、前回までの会議で、来年度実施する令和2年度の実績報告では様式の見直しを行うということであったと思います。今までの評価方法とは少し違った形にしているということですが、次回会議で事務局から素案を提示していただくということで、よろしいですかね。

では、続きまして、報告事項の2点目、「放課後子ども総合プラン導入検討委員会からの報告」について、事務局から説明をお願いします。

### 【事務局】

それでは、放課後子ども総合プラン導入検討委員会からの報告について説明いたします。資料2をお願いします。

9月1日に第3回、10月13日に第4回委員会を開催しました。

資料2は、令和元年度から2年度の2ヶ年にわたる導入検討委員会での検討の結果として、提言書としておまとめいただいたものになります。

表紙をおめくりいただきますと、「はじめに」として、国が平成19年に放課後子どもプラン、平

成26年に放課後子ども総合プラン、平成30年に新・放課後子ども総合プランを策定し、放課後児童対策が強く推進されていること、小牧市でも児童の放課後のあり方に関する検討、第2期子ども・子育て支援事業計画に一体型を推進する方針の記載が行われているという国と小牧市の動向が記載してあります。

次に1ページをお願いいたします。小牧市における放課後子ども総合プランの検討の経緯として、中段の表になりますが、平成30年6月にこども・子育て会議の専門部会として児童の放課後のあり方に関する検討部会を設置し、令和元年6月に提言書をおまとめいただきました。その後、放課後子ども総合プラン導入検討委員会を設置し、この提言書をおまとめいただいたという状況になっています。この過程で、令和2年2月に令和3年度からのモデル事業を小牧、光ヶ丘小学校の2校で実施することも決定しています。

2ページは、令和元年6月の児童の放課後のあり方に関する検討部会からの提言をそのまま記載してあります。

3ページは、令和2年度における放課後子ども教室と児童クラブの状況を制度の目的や活動日、従事者数など比較したものになります。

4ページからは、導入検討委員会でおまとめいただきました、小牧市の放課後子ども総合プランの姿となります。まず①基本的な考え方として、現在の放課後子ども教室の活動日の一部を児童クラブと合同で体験活動を行う日とし、かつ年に1回程度、本格的な体験活動を放課後子ども総合プランに参加する児童に提供することで、児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験活動を行うことができる環境を整備する。

次に②従事者として、放課後子ども総合プランの着実な実施のためには、関係機関との調整、及び各地区からの様々な相談に応じ、的確に助言を行うコーディネーター的な人材を市に配置することが不可欠と考える。

次に③活動場所として、原則として、現在の児童クラブ、放課後子ども教室の活動場所にて実施するが、不足する場合は事前に学校と協議のうえ、場所を借用する。なお、場所の選定にあたっては、児童の動線や学校との施設管理上の分担についても協議が行われるべきである。

次に④費用として、児童クラブを主として利用する児童については、令和3年度から実施される保

護者負担金見直し後の金額とする。放課後子ども教室を主として利用する児童については、現在と同様、傷害保険料として年額800円、材料費として実費相当額を徴収する。なお、合同の体験活動に必要な消耗品費等については、当面の間、実費徴収ではなく市費負担とする。

次に⑤利用定員として、放課後子ども教室の受入可能定員を考慮し、受入上限人数を決定する。なお、活動内容によっては多人数で実施できる内容（主に鑑賞）もあるため、活動内容ごとで決定する。

最後に⑥モデル事業について、導入検討委員会での検討において、放課後子ども教室の従事者不足等、放課後子ども総合プラン実施における課題が複数挙げられている。市内全域での一斉導入は困難であると考えられるため、令和3年度はモデル校でモデル事業を実施し、その評価・検証を踏まえて令和4年度以降の事業計画を検討すべきと考える。

以上6点となります。

6ページは小牧市の放課後子ども総合プランを図式化したものになります。中央上にある、児童クラブと放課後子ども教室の合同の体験活動を行い、児童に多様な活動を体験してもらうことで健全な育成を図ることを中核の活動とし、その活動を新設する放課後子ども総合プランコーディネーター、市、学校及び児童館、各ボランティア団体などが支える計画としています。

7ページは、実施体制として、放課後子ども総合プランを実施するにあたって、国は市町村に運営委員会と学校区毎の協議会を設置することを示しています。小牧市としては、下の実施体制図で、市に1つ運営委員会を設置し、市全体の放課後子ども総合プランの方向性の決定や評価・検証を行い、学校区ごとに協議会を設置し、各校で行う児童クラブと放課後子ども教室の合同の体験活動の連絡調整や地域ボランティアなどの情報共有、事業の自己評価を行うこととします。この学校区ごとの協議会は、既に学校で運営されている学校運営協議会で代替することも可能として、今後調整を進める予定です。

8ページは、令和3年度からのモデル事業についてです。モデル事業の結果が令和4年度以降の他の小学校区での事業展開に影響するため、3つの段階を経て実施されるべきであることが記載されています。

まず段階1として、各モデル校で自己評価及び参加者アンケートを行い、課題の洗い出しを行う。

次に段階2で、モデル校から自己評価結果等の報告を受けた運営委員会は、全体的な評価・検証を



行うこと、令和4年度以降の実施校は、地域や従事者の状況を見て随時導入を進めること、全体的な評価・検証を行ったときに、放課後子ども総合プランの事業の方向性を大きく変更する必要があると判断したときは、モデル校と協議しながら事業の再設計に取り組むこと。

次に段階3で、モデル校は、段階1で得られた自己評価結果等、段階2で得られた運営委員会からの答申を踏まえ、次年度の事業内容の検討を行うことです。

9ページ、10ページは、令和元年度から令和2年度にかけて8回実施いただいた導入検討委員会において各委員が発言された意見のうち、今後モデル事業を進め、かつモデル校以外の学校にも事業展開を図る中で考慮すべきである意見を記載してあります。

11ページから14ページは、先の令和2年10月の導入検討委員会において、一旦の検討のしめくくりとして各委員からご発言をいただきましたが、その要約を記載してあります。

15ページ以降は、資料として、導入検討委員会の検討経緯、設置要綱、委員名簿を添付してあります。

事務局といたしましては、今後、令和3年度からのモデル事業を着実に実施し、その評価・検証を踏まえて、提言書にあるとおり実現可能で実効性がある方策を推進してまいりたいと考えております。

報告は以上です。

## 【鈴木会長】

ありがとうございました。

ただいまの事務局からの説明について、ご意見やご質問はありますか。いかがでしょうか。

放課後の子どもたちの過ごし方ということで、色々のご検討をいただいたようです。人員が足りないといったことなど、課題もあるかと思えますけれども、児童クラブと放課後子ども教室で協力しながら、子どもたちの体験を豊かにしていこうという計画であったと思います。

委員の方のご意見を見てみると、最初の頃は、児童クラブと放課後子ども教室を一緒になって総合プランを行うということに対してネガティブなイメージがあったものの、検討をしていくうちに「何とかなるのではないか」というご意見が増えてきたということが分かります。そのような中で、「子どもたちが普通では体験しないことを体験させたい」ということが核であるとか、活動場所も学校の教室で出来るのではないかと、ということで結論をいただいたようですので、概ねポジティブに捉えら

れるかと思えます。

実際に子育てをされている保護者代表の委員さんや、地域コーディネーターの方から、何かご意見  
ございませんか。

(挙手なし)

それでは、報告事項の3点目、「小牧市立第一幼稚園のあり方に関する検討部会の進捗状況」につ  
いて、事務局からご報告をお願いします。

### **【事務局】**

幼児教育・保育課の葛谷と申します。

それでは、小牧市立第一幼稚園のあり方に関する検討部会の進捗状況について、ご報告させていた  
だきます。配布資料はありませんので、口頭での報告となります。

前回のこども・子育て会議では、第1回の検討部会について報告をさせていただきました。本来の  
予定では、本日までに部会の意見をまとめて、その結果を報告させていただくこととしておりました  
が、予定どおり進めることができなかつた部分があり、スケジュールを若干変更させていただきました  
た。

第1回の検討部会後の動きとしては、8月に第一幼稚園の職員ミーティング等で、園の全職員から  
第一幼稚園の良さや魅力、あるいは足りないところや改善すべきことについて、職員目線の意見を洗  
い出してもらいました。

また、9月には保護者目線の意見として、PTA役員会にて同様のテーマで意見交換をしていただ  
きました。

そのような中で出された様々な意見について、幼稚園教育要領や、保育所の保育指針などを参考に  
しながら、公立幼稚園としての役割や、地域の連携、幼保小の連携など重要だと思われる項目につい  
て、項目ごとに意見を分類して整理をしたうえで、次回、10月27日に開催する第2回の検討部会  
で委員の皆様から、それぞれの視点でご意見をいただく予定をしています。

その結果を踏まえまして、事務局で報告書の素案を作成した後、検討部会の中で素案の修正を行い、  
年内には検討部会の最終的な報告書をまとめたいと考えております。

報告は以上となります。

## 【鈴木会長】

ありがとうございました。

コロナの影響などにより思うように進まなかったところもあるかと思いますが、今は細かく色々な方の意見を集約して、検討しているということですね。

また、来週には第2回の検討部会を開催して進めていくということで、次回のこの会議では具体的な話が聞けると思います。皆様、そのようなことでよろしいでしょうか。

それでは、続きまして、報告事項の4点目になります、「小牧市立一色保育園民営化の進捗状況」について、事務局から報告をお願いします。

## 【事務局】

それでは、報告させていただきます。

こちらにも特に資料はないため、現在の進捗状況を口頭にてご報告させていただきます。

前回、一色保育園の民間移管の公募を行うこととお話しさせていただき、スケジュールなどをご報告させていただいたかと思います。

8月3日から事業者の公募を開始しまして、当初は現地説明会を8月22日に開催する予定で事務を進めていたのですが、新型コロナウイルスの影響もあり、現地での説明会は中止し、急遽、動画配信による説明会へ変更させていただきました。

説明会には、社会福祉法人が4者、学校法人が1者とといった5者に参加いただきましたが、10月2日まで公募を実施させていただいた結果、最終的には社会福祉法人1者の申込みとなりました。

今後の流れとしては、1次審査として書類の審査を行い、2次審査として11月末にプレゼンテーション審査を実施する予定となっております。こちらにも最終結果が出るのが、12月末になりますので、次回のこども・子育て会議にて結果をご報告させていただきます。

報告は以上となります。

## 【事務局】

ありがとうございました。

こちらにも年内には結果が出るということですので、次回会議では具体的な報告があるかとは思いますが、現時点で何かご質問やご意見等はございますか。よろしいでしょうか。

(挙手なし)

最終的に申込みとなったのは1者だけということで、事業者側もしっかり検討していただいたのかと思います。審査にあたって、ぜひ慎重に審査いただきたいと思います。

本日は報告事項のみということとなりましたが、全体を通して、その他ご発言ということでお伺いしたいと思いますけれども、よろしいですか。

(挙手なし)

今日はこの後、こども未来館の見学が出来るという、またとない機会がございますので、童心にかえってご視察いただければと思います。

それでは、進行を事務局にお返しいたします。よろしくお願いいたします。

### 3 その他

#### 【事務局】

ありがとうございました。本日は議題ではなく、報告のみとなりましたが、現在途中経過のものもございますので、引き続き、事務を進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、今後の予定についてお知らせいたします。

第4回につきましては、令和3年2月15日の月曜日、午後2時から市役所大会議室で行う予定をしております。また、開催前には改めてご案内を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして、令和2年度第3回小牧市こども・子育て会議を閉会させていただきます。

この後、委員の皆様には、こまきこども未来館をご視察いただきます。事務局がご案内いたしますので、着席のまましばらくお待ちください。なお、傍聴の皆様につきましては、こちらで終了となりますので、よろしくお願いいたします。